

2014年 ISO TC 46/SC 11 ワシントン総会報告

いつも大変お世話になっております。標記について下記の通り報告いたしますので、

1. 概況

期間 2014年5月5日（月曜日）より同月9日（金曜日）

会場 米国議会図書館及び米国アーカイブズ・記録管理局

2. 主な内容（詳しくは＜別紙＞参照のこと）

組織体制の変更としては、ISO 15489 記録管理の改訂に合わせ ISO 23081 記録の管理メタデータを改訂するため WG1 メタデータが活動を再開したこと、WG9 MSR - 要求事項 - を解散させ、WG8 MSR - 基本及び用語 - に吸収し、名称を「記録マネジメントシステム」としたこと(30日レター投票実施済み)及びWG11 記録システムのリスク評価が解散したことが上げられる。このほか JTC 1/SC 38 分散アプリケーションプラットフォーム及びサービス(DAPS)、ISO/TC 176/SC2 品質システム、及び、知識マネジメントシステムに関する ISO/PC XXX(未開設)とのリエゾン体制を築いた。

昨年専門班を置いた、エンタープライズアーキテクチャ・サービス(EAS)、分散型の業務基盤とサービスにおける記録、SC11の規格に共通する考え方、オープンデータに関連する記録管理の4分野は、いずれも2015年北京総会に向けディスカッションペーパーを用意し、NWIPの開発につなげることにした。

ISO 30300 記録のマネジメントシステム(MSR) 関連では、30302 MSR 実施ガイド DIS投票が7月末とされたほか、30303以降で想定されていたその監視・測定/管理については、可能な選択肢を用意することとなった。

ISO 15489改訂関連では、名称をISO 15489-1 情報とドキュメンテーション 記録管理 第1部：概念と原則に変更するとともに、他の部が様々な環境における実施ガイドを含むよう開発することとした。

以上。

＜別紙＞

第30回ISO/TC 46/SC 11「アーカイブズ/記録管理」総会 決議録

2014年5月5-9日 ワシントン DC(アメリカ合衆国)

* ISO/TC 46/SC 11 N1446による

第1専門班 - エンタープライズアーキテクチャ・サービス(以下、EASとする)における記録管理

決議 1/2014-05

ISO/TC 46/SC 11は、第1専門班のリーダーに、EASにおける記録管理に関するディスカッションペーパーを作成し、2015年の北京において新WGが検討する企画案とともに、2015年3月までにSC11メンバ団体に配布することを要請する。その文書は、概要、原理、計画及びモデルを検討するものとする。

決議 2/2014-05

ISO/TC 46/SC 11は、2015年の北京において第1専門班の会議を開くことを決議する。

第2専門班 - 分散型の業務基盤とサービスにおける記録

決議 3/2014-05

ISO/TC 46/SC 11は、第2専門班のリーダに、分散型の業務基盤とサービスに関するディスカッションペーパーを作成し、2015年の北京において検討できるよう、3月までにメンバ団体に配布することを要請する。

決議 4/2014-05

ISO/TC 46/SC 11は、2015年の北京において第2専門班の会議を開くことを決議する。

第3専門班 - SC11の規格に共通する考え方

決議 5/2014-05

ISO/TC 46/SC 11は、白書「ISO 30300シリーズ規格と他のISO/TC 46/SC 11制作物の関係」を最新の情報により改訂することを決議する。2012年にXiaomi An (中国) 主導により作成された「用語」は、2015年北京総会における討議のため2015年3月までに[原案を]配布する。

決議 6/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、同SCで使用されている現在の用語リストを精査するとともに、同SCメンバに対して次の点につき批判コメントを求めることを決議する。

- ・ どの用語を更新、訂正及び追加する必要があるのか、
- ・ どの用語は一貫性を維持する必要があるのか、並びに
- ・ 現在のISO/TC 46/SC 11規格における主要概念の識別

決議 7/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、その専門班のリーダにXiaomi An (中国) がなり、そのグループがCharlotte Maday (フランス) ほか6名 (名前を略す) から構成されることを決議する。

決議 8/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、第3専門班の会議を2015年の北京において開催することを決議する。

第4専門班 - オープンデータに関連する記録管理

決議 9/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、2015年の北京における会議で検討するため、2015年3月までに同班が「オープンデータに関連する記録管理」に関するディスカッションペーパーを作成すべきことを決議する。

決議 10/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、第4専門班がCharlotte Maday (フランス) を中心とし、Raivo

Ruusa lepp(エストニア)ほか16名(名前省略)により構成され、進められていくことを決議する。

決議 11/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、同班のテレビ会議又は対面会議を、2014年末までにパリで開催することを決議する。

決議 12/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、同班の会議を2015年の北京において開催することを決議する。

WG1 メタデータ

決議 13/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、2014年より2017年までの間、Hans HofmanをWG1 - メタデータのコンビーナとして再任することを決議する。

決議 14/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、*ISO 23081-2:2009 情報とドキュメンテーション 記録の管理 メタデータ 第2部:概念と実施の課題*をさらに5年間、承認することを決議する。

決議 15/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG1の議題に現在持ち上がっている要素を含むこととし、ISO 15489シリーズの改訂の結果に関連するISO 23081シリーズの改訂を議論することを決議する。23081の全3部がその再検討に付される。コメント(2014年3月の定期見直し)一覧はこの再検討の中で処理することとなる。

決議 16/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Hans HofmanがICA(国際アーカイブズ会議)プログラム委員会及びアーカイブズ記述の専門家グループと連絡をとり、ISOにおける記録及びアーカイブズのメタデータに関する信頼できる筋としてTC46/SC11を支援してくれるよう依頼して、2015年3月までにISO/TC 46/SC 11に報告することを決議する。

決議 17/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG1の会議を2015年の北京において開催することを決議する。

WG7-デジタル記録保存に関するJWG

決議 18/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、*ISO/TR 17068:2012 情報とドキュメンテーション デジタル記録のための信頼される第三者リポジトリ*をDIS投票にかけることを決議する。投票により可決された場合に、ISO/TC 46/SC 11 は事務局に対してISO/TR 17068:2012を国際規格案として、必要な手続きを進めることを要請する。

決議 19/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Paul MullonをWG7-デジタル記録保存に関するJWGのコンビーナに再任することを決議する。

決議 20/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG7の会議を2015年の北京における会議の一部として開催することを決議する。

WG8 MSR – 基本と用語 及び WG9 MSR – 要求事項

決議 21/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG9 MSR 要求事項を解散し、全てのWG9メンバがWG8 MSR 基本及び用語 に加わるよう招請することを、事務局に対して要請することを決議する。ISO/TC 46/SC 11はWG8のタイトルを「記録マネジメントシステム」に改め、新しいスコープを起草するとともに、その承認のために30日レター投票を発送することを決議する。ISO/TC 46/SC 11はさらに、Carlota Bustelo(スペイン)をコンビーナに、Judith Ellis(オーストラリア)をプロジェクトリーダー及びWG8事務局補佐に指名することを決議する。

決議 22/2014-05

ISO/TC46/SC 11 は、Judith Ellis 及び Carlota Busteloが、引き続きマネジメントシステム規格業務のISO/TMB 共同技術コーディネーション・グループに関するISO/TC46/SC 11代表となることを決議する。

決議 23/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Michel Cottin(フランス)をコーディネータとし、Song-Ahm Cho(韓国)ほか3名からなる原案作成チームが、白書「ISO 30300シリーズ規格と他のマネジメントシステム規格の関係」の作成を継続して、6月30日の再検討のため、2014年6月15日までにWG8に配布し、さらにSC11の公式ウェブサイトで公表し、自由に利用できるようにすることを決議する。

決議 24/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG8がISO/CD 30302 情報とドキュメンテーション - MSR - 実施ガイド案をDIS投票のために公表する作業を2014年7月31日までに終了させることを決議する。

これは次のように実施される。

- a) 編集グループ[Judith Ellis(オーストラリア)ほか3名によって構成される]が現在のCDに関するコメントを解決し、改訂されたCD案及び解決されたコメントを2014年6月30日までにWG8メンバに配布すること。
- b) WG8が、2014年5月の会議のテキストに関する決定の実施について、2014年7月14日までに意見を出し合い、取りまとめること。
- c) 遅くとも2014年7月31日までに、最終案をDIS投票のためISO/CSに提出すること。

決議 25/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Carlota Bustelo(スペイン)コーディネータ、Song-Ahm Cho

(韓国)ほか5名からなる起草チームが、2015年北京総会での議論のため、2015年3月までにMSR実施の監視及び測定又は管理のための可能な制作物の選択肢をそなえたディスカッションペーパーを作成することを決議する。

決議 26/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG8が定期的に、その白書「MSRと他のTC46/SC11制作物の関係」、Cristina Fernandez (スペイン)による「記録のプロセスと制御」及びXiaomi An (中国)による「用語」を、新しい情報により改訂することを決議する。

決議 27/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG8の会議を2015年の北京において開催することを決議する。

WG10 – 記録ディスポジションの実施指針

決議 28/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG10 の名称と範囲を次のように変更することを決議する。

- ・ 新しい名称：ISO/TC 46/SC 11/WG 10 - 記録処分のための実施ガイドライン
- ・ 新しい範囲：現在の処分に関する方法論や実践について、今後の作業を開発し、情報を発信していくために再検討すること。

また、事務局に対して、この変更を ISO/CS に報告することを要請する。

決議 29/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Stephen Clarke (ニュージーランド)を WG10 のコンビーナとして2014年より2017年までの期間、再任することを決議する。

決議 30/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 WG10 (注：原文の通り)は、現在の処分の方法論と実践についての環境調査に取り組むことを決議する。参加国及びオブザーバ国は、今後の製品開発を充実させるディスカッションペーパーを用意するために、これにつき再調査の上、情報提供することが求められる。その作業は、Stephen Clarke (ニュージーランド)を中心に、Michael Bannister (カナダ)ほか7名によって進められ、2015年北京総会における検討のため、2015年3月までに配布される。

決議 31/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG10 の会議を2015年の北京において開催することを決議する。

WG11 記録システムのリスク評価

決議 32/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局にWG11の解散を要請する。SC11は、WG11のメンバの貢献に感謝するところである。

WG13 ISO 15489-1 及び ISO/TR 15489-2の改訂

決議 33/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Hans Hofman を WG13 のコンビーナとして 2014 年から 2017 年までの期間、再任することを決議する。

決議 34/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、*ISO 15489 情報とドキュメンテーション 記録管理 第 1 部：通則*を、*ISO 15489-1 情報とドキュメンテーション 記録管理 第 1 部：概念と原則*に変更することを決議する。

決議 35/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG13 が改訂版 ISO 15489-1 を「概念と原則」として作成し、また ISO 15489 の他の部が様々な環境（例えば、紙ベース、デジタル、ハイブリッドの環境）のための実施ガイドを含むよう開発に取り組むことを決議する。

決議 36/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、SC11 事務局が ISO の事務局に対して、その ISO/CD 15489-1 のために 9 ヶ月の延長期間を与えてくれるよう要請することを決議する。

決議 37/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、2014 年 12 月 1 日より前に DIS 投票を ISO/CS に提示するに先立って、*ISO 15489 記録管理 - 第 1 部：概念と原則*の最初の DIS 案（コメントの解決を含む）を 2014 年 7 月 31 日までに配布し、SC11 メンバから 30 日間にわたり評価・コメントを受け付けることを決議する。その際の SC11 メンバからの回答は、受け入れられたコメントが適切にその案の中で記述されているかどうかを述べるのが望ましい。

決議 38/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、WG13 の会議を二日間にわたり、2015 年の北京において開催することを決議する。

コーディネーション・グループ

決議 39/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に対し、*JTC 1/SC 38 分散アプリケーションプラットフォーム及びサービス (DAPS)*との間にリエゾンメンバ制を敷くことを要請することを決議する。指名するリエゾンコンタクトは、Lucas Colet(ルクセンブルグ)及び ISO/TC 46/SC 11 事務局 Agnes Simai である。

決議 40/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に対し、*ISO/TC 176/SC2 品質システム*との間にリエゾンメンバ制を敷くことを要請することを決議する。指名するリエゾンコンタクトは、ISO/TC 46/SC 11/WG 8 コンビーナ Carlota Bustelo (スペイン) 及び ISO/TC 46/SC 11 事務局 Agnes Simai である。

決議 41/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、Charlotte Maday (フランス) が、SC11 のあらゆる活動に関わる *MEDONA* プロジェクトの影響及び潜在的利益を調査し、評価した上、2015 年北京総会の場で SC11 に報告することを決議する。

決議 42/2014-05

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に対し、*知識マネジメントシステムに関する ISO/PC XXX*(未開設、注：PC はプロジェクト委員会)との間にリエゾンメンバ制を敷くことを要請することを決議する。指名するリエゾンコンタクトは、ISO/TC 46/SC 11/WG 8 コンビーナ Carlota Bustelo (スペイン) 及び ISO/TC 46/SC 11 事務局 Agnes Simai である。

< 謝辞 >

ISO/TC 46/SC 11 は、米国情報標準化機構 (NISO)、アメリカ国家規格協会 (ANSI)、議会図書館及び国家アーカイブズ・記録管理局が、2014年5月のISO総会週間を共催し、暖かくもてなすとともに組織的にサポートしてくれたことに対し、感謝いたします。

特に、次の皆様に感謝の意を表します。NISOからの次の皆様。

- Todd Carpenter ほか4名 (名前省略)

議会図書館職員：

- Associate Librarian for Library Services, Roberta Shaffer ほか1名 (名前省略)

国家アーカイブズ・記録管理局職員：

- Archivist of the United States, David Ferriero ほか5名 (名前省略)

さらに、専門委員会 (分科委員会) は、会議開催を可能にしてくれた惜しみなく協力してくれたスポンサーの皆様に熱くお礼を申し上げます。

- Bowker ほか8社 (社名省略)

以上。